

株式会社ラック  
会社案内

---

# ラックの経営メッセージ「パーパス」

私たちの存在意義

## Purpose

**たしかなテクノロジーで  
「信じられる社会」を築く。**

デジタル社会がより高度化・複雑化するなか、  
私たちは練度の高い多様なテクノロジーを駆使して安心・安全な社会基盤を築き、  
人々が互いを支え合い、笑顔でいられる社会を実現します。

互いを信じられる社会

成長を信じられる社会

未来を信じられる社会

セキュリティ、システムインテグレーションの総合的ITサービスによって  
**お客様の課題解決に幅広く対応**

## セキュリティ事業

先進のセキュリティサービスに  
**SIの知見**を付加



コンサルティング  
営業・顧客サポート

総合的ITサービスを提案



**お客様**

## システム インテグレーション事業

信頼のSIサービスに  
**セキュリティの知見**を付加

業界をリードする技術力で、様々な大手企業や行政機関に  
高度なセキュリティサービスを総合的に提供

セキュリティコンサルティング

サイバー救急センター



緊急対応

総合的  
セキュリティ  
サービス

国内最大級の  
セキュリティ監視センター



監視・運用

脆弱性診断

DiaForce

診断

セキュリティアカデミー



教育・訓練

セキュリティ人材層の厚さ

セキュリティ事業  
従業員数

約**764**名

情報処理安全確保支援士  
登録者数

**175**名

最新のサイバー攻撃に関する知見

情報セキュリティ  
事故対応（年間）

約**500**件

AIを使用したマネージドサービス  
AIクラウドセキュリティ運用支援



## 国や企業のITインフラを守る 日本最大級セキュリティ監視センター JSOC

拠点に導入されている様々なセキュリティ監視機器を運用することはもちろん、巧妙化する不正アクセス通信の分析や不正侵入検知後のインシデント対応までを、**24時間365日リアルタイムで実施するセキュリティ監視・運用サービス**です。

### Point

**22** 年

24時間365日のセキュリティ監視サービスを22年にわたり継続して実施

**19億** 件

監視センサー数は2,000台以上、1日あたりの処理ログ件数は19億件

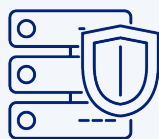
**1,000** 社

約1,000社を超える企業でのサービス採用、100団体を超える官公庁・地方公共団体等での実績

※2024年4月現在

### JSOC サービスイメージ

ログの集計からお客様へのご報告まで、JSOCサービスの全体のフロー概要です



FW/IDS/IPS/EDR/NDRを使って不審な通信を検知



独自システムを使って攻撃情報を整理



アナリストが詳細まで分析。適切な危険度を判定



危険度に応じて電話、メール、Webにて通知。対策を支援



## 事故対応のプロフェッショナルが システム復旧と事業継続を支援

企業の様々な情報セキュリティ事故発生時に、迅速に調査、原因究明、復旧を行う緊急事故対応サービスです。  
事前の契約がなくても24時間365日相談可能。

緊急出動件数（累計）

**4,800 件**

※2024年3月現在

### 1 初動対応・ インシデントレスポンス

被害を受けた企業への電話による相談対応、現場での緊急対応が必要な場合には専門のコンサルタントを派遣

### 2 復旧支援

事業継続のための主要機能を復旧させるための計画策定を実施

### 3 回復・恒久対策

再発対策を検討し、日常運用のPDCAサイクルに乗せるための支援を実施

### 4 相談・ アフターフォロー

企業規模やリスクに応じたアフターフォロー（提案～実施）を行う

#### 対応実例

- 標的型攻撃
- ウイルス感染
- ランサムウェア被害
- 内部不正
- 機密情報の漏洩
- ビジネスメール詐欺
- Webサイトの改ざん
- etc.

診断を、戦力に。

LACのセキュリティ診断 **ディアフォース**

# DiaForce

## お客様の成長戦略に合わせて提供する セキュリティ診断サービスのブランド

1995年に日本で初めて脆弱性診断サービスを提供開始。膨大な診断実績によって、潜在的な脆弱性の発見はもちろんサイバー攻撃への耐性評価などの高品質なセキュリティ診断を可能にします。



診断実績※

**27,500** 件以上

診断提供

**29** 年以上

顧客満足度※

**94%**

※2023年度実績

### 様々なニーズに対応

高度なセキュリティ技術を活かし、お客様との対話を通じてビジネスの成長と発展の状態に合わせた最適な診断サービスを提供

### 費用対効果の最大化

必要なタイミングに最適な診断を選ぶことで、お客様のセキュリティ対策の効果を最大化する

### 専門家のサポート

診断結果報告書を受け取って終わりではなく、診断結果を元に専門家がセキュリティ対策の改善アドバイスも合わせて提供

## 企業の実情やニーズに最適なセキュリティコンサルティング

高い技術力を持ち、お客様と真剣に向き合う当社のコンサルティングサービス。お客様が直面する複雑なセキュリティ課題に対して多種多様なセキュリティ対策から適切なものを選び、検討から運用まで包括的に支援します。

1

### 100名を超える コンサルタント人材

100名以上のコンサルタントが各業界の知識を活用し、お客様のニーズに合わせた解決策を提供

2

### 約1,200社、4,000件以上の コンサルティング実績

中央省庁を含む公的機関、大手都市銀行や製造業など社会インフラを支える大手組織へのコンサルティング実績

3

### セキュリティ対策の あらゆる分野に対応可能

ガバナンス、ITインフラ、ID管理、アプリケーション、クラウド環境、物理セキュリティなどあらゆる相談に対応可能

※2024年4月現在



このようなお悩み、  
ラックのセキュリティ  
コンサルタントが  
解決します！

Case A

セキュリティ事故の再発防止のために、自社に適した情報セキュリティ規程の整備と体制構築を、各種ガイドラインの内容や技術トレンドを取り入れて組み立て直したい

Case B

ランサムウェア対策やゼロトラスト、サプライチェーン管理などの、最新のセキュリティ施策を経営層や取引先から求められたが、どう手をつけていいのかわからない

Case C

自社で策定した情報セキュリティ規定やセキュリティ対策に対して、信頼できるセキュリティプロフェッショナルによる第三者評価を受けたい

etc.



金融機関など大手企業を軸とした、基幹システム開発を担う技術力  
セキュリティサービスの複合的な提供で、セキュアなエンジニアリングを提供



## 信頼されるシステム開発力

大手金融機関など  
継続的な取引企業

約**350**社

システム開発における  
大手企業の売上割合

約**75**%

※大手企業は、従業員数が2,000人、売り上げ高1千億以上の企業を指す

システム開発  
一次受け案件の割合

約**60**%

金融機関向け  
AI活用金融犯罪対策  
ソリューション

**ZeroFraud**



## 金融犯罪対策センター

FC3: Financial Crime Control Center

## 私たちは、金融犯罪被害をゼロにしたい… その強い思いで「信じられる社会」の実現を目指す

金融事業者の“駆け込み寺”として、金融犯罪対策のエキスパートが「顧客(金融機関の利用者)保護」の視点に立ったコンサルテーション、認証プロセス高度化や不正取引検知などの対策ソリューションを提供します。AIを用いたラック独自の最先端ソリューションも提供します。

1

### コンサルティング サービス

金融サービスや決済サービスにおける「金融犯罪対策の多層防御」の実現に向けて様々なコンサルティングを提供

2

### 対策ソリューションの 設計・導入支援

被害の発生を未然に防ぐためのソリューション提供や、導入に際しての技術的なサポートを提供

3

### 定期アドバイザリ サービス

金融犯罪対策に関する“よろず相談”へのQA対応と最新脅威情報を定期アドバイザリ契約の中で提供

金融犯罪対策に特化した、ラック独自の  
AIによる高精度な不正検知システム  
**AIゼロフラウド**

# ZeroFraud

特長1

ATM不正出金において、**不正取引**の検知率 **94%**を達成

特長2

犯罪行為に用いられる、**不正口座**の検知率 **95%**を達成

特長3

独自の特徴量エンジニアリングと先端的AI技術で**低い誤検知率**を実現



**CYBER GRID JAPAN**

## サイバー脅威・国防の研究 セキュリティ意識向上への取り組み

サイバー脅威や国防の研究に加え、産学官の関係者と連携し情報セキュリティや情報モラルに関する教育活動を各地で推進しています。



サイバー・グリッド・ジャパンが発行する  
情報誌「CYBER GRID JOURNAL」

### ナショナルセキュリティ研究所

国家が主体となるサイバー攻撃について、各国のサイバーセキュリティ関連政策や部隊の動向を調査分析し、サイバー攻撃の予兆や先回りした対策を探る

### 次世代セキュリティ技術研究所

社内の関連部門や社外パートナーと連携し、SecureGRIDアライアンスなど先回り防御を可能とする独自のスレットインテリジェンス生成・分析・共有に関する技術研究を行う

### ICT利用環境啓発支援室

情報モラルやセキュリティの啓発を通じ、ICT利用環境の整備やデジタル社会基盤の強化を推進する

### 団体運営推進室

日本全国のセキュリティ向上を目指す様々な団体の活動を、政府や関連組織と連携して支援する



LAC  
Security  
Academy

## 最先端のセキュリティ企業だからできる 現場のプロフェッショナルによる実践的な教育プログラム

専門性の高い講師陣によって、組織レベルのセキュリティ対策に役立つ、教育・トレーニングを提供します。企業別のオーダーメイドトレーニングのご要望にも応じます。

1

### セキュリティ各専門部署の 最前線のエンジニアが講師

JSOC、セキュリティ事故対応、脆弱性診断を現場で対応しているエンジニアが講師のため、生きた知識が吸収できる

2

### 一般社員教育から スペシャリスト育成まで

組織のあらゆる階層・役割に応じて提供

#### 対象例

- ・新入社員・一般社員
- ・管理職・経営層
- ・CSIRT・セキュリティ担当者

3

### オフライン、オンライン の様々な実施方法に対応

ご要望に合わせて様々な実施形式をご用意

#### 実施形式

- ・集合形式/リモートLive形式
- ・ハンズオン・ディスカッション
- ・オンデマンド形式

累計  
受講者数

127,000 人

プログラム

70 コース以上

顧客  
満足度

98.3 %

※2024年3月現在

## 街全体を見守る総合的なセーフティ・サービス「smart town事業構想」 地域のステークホルダーと連携しながら、 ICTとサイバーセキュリティの力で、社会課題解決を目指す



## サイバー脅威・国防の研究 セキュリティ意識向上への取り組み



ラックの研究機関「サイバー・グリッド・ジャパン」ではサイバー脅威や国防の研究に加え、産学官の関係者と連携し情報セキュリティや情報モラルに関する教育活動を各地で推進しています。



## 働き方改革・ワークライフバランスの充実 SDGsなどへの取り組み



働き方多様性、効率的な勤務実現のための制度改革

- 「健康経営優良法人2024」に認定
- 社員の年間有給休暇取得実績 15.0日/年
- 月平均残業時間 15時間
- マルチステークホルダー方針



## IT人材の育成・創出



- 若手エンジニア支援プログラム「すごうで」の主催



- 情報セキュリティイベント  
セキュリティキャンプ事務局運営

## ダイバーシティへの取り組み



家庭環境、障がい、人種、性別などに関わらず多様な社員が活躍できる組織作り

- 視覚障害者がエンジニアとして活躍
- 男性育休取得率 57.1%

※2024年度実績

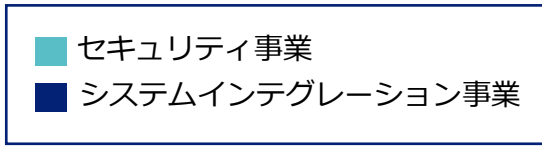
# 私たちの使命

---

ITとサイバーセキュリティの力で、  
社会的課題に立ち向かい、  
国の発展を支え、人々の暮らしを守っていく

ラックは、国内セキュリティ業界をリードする存在として、  
またシステムインテグレーションの信頼できる経験と実績で、  
公的機関や企業の事業課題を解決するITサービスを提供します。

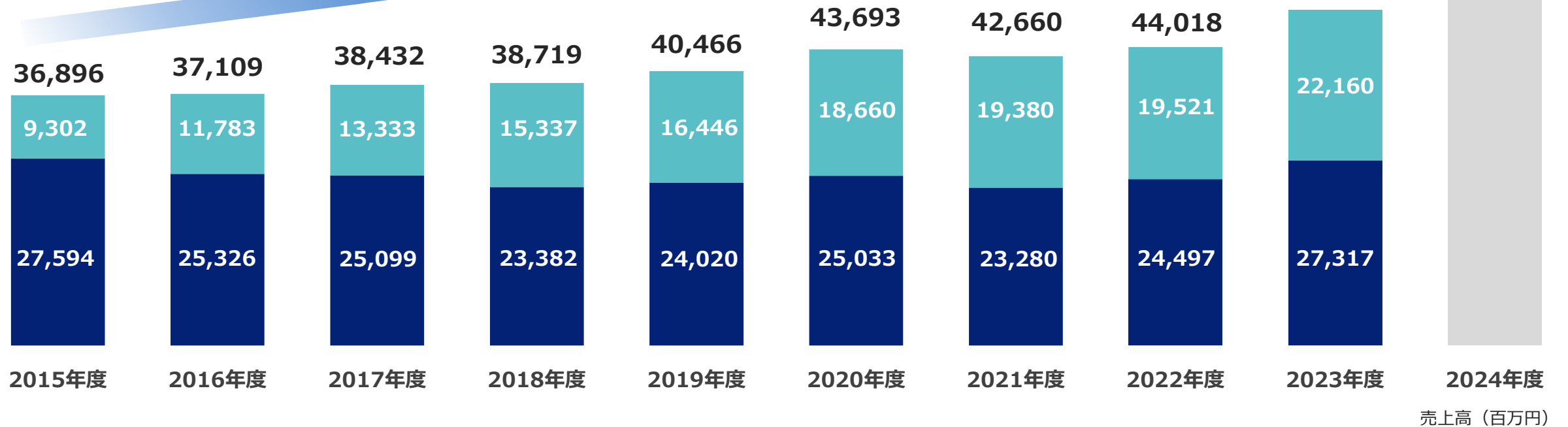
## 事業成長へのチャレンジ



中計・TRY 2021 ステージ1  
M&A・新事業による成長、全社体制強化

中計・TRY 2021 ステージ2  
セキュリティを軸とした成長へ

中計・共創と挑戦  
耐久力・適応力・デジカ





# 会社概要・事業所



名称	株式会社ラック (LAC Co., Ltd.)
事業概要	<ul style="list-style-type: none"><li>■ セキュリティ事業</li><li>■ システムインテグレーション事業</li><li>■ 情報システム関連商品の販売及びサービス</li></ul>
本社所在地	〒102-0093 東京都千代田区平河町2-16-1 平河町森タワー
事業所	東陽町オフィス 名古屋オフィス 福岡オフィス ラックテクノセンター秋葉原 ラックテクノセンター北九州 シンガポール支店
従業員数	2,192名 (2024年3月31日現在)
設立	2007年10月1日 ※創業：1986年9月
資本金	26億4,807万5,000円
売上高	494億円 (2024年3月期) ※連結

